

(3) 「禁煙・分煙の推進」の取組

【目標】 取組項目	これまでの取組	
	内 容	実 績
【タバコを吸わない市民の増】 (1) 禁煙啓発 (2) 禁煙支援 (3) 喫煙防止啓発	(1) 禁煙啓発 ① 全市的な禁煙啓発 (禁煙週間等の機会を活用) ② ターゲットを絞った啓発 妊婦を対象とした啓発 (母子健康手帳交付時) 養育者向けの啓発 (両親学級等での啓発) (2) 禁煙支援 ① 各区での禁煙相談 ② 禁煙支援薬局事業 ③ 禁煙NOTEホームページを通じた禁煙 相談実施医療機関の紹介 (3) 喫煙防止啓発 ① 喫煙防止出前授業(小・中) ② 市立高校での喫煙防止啓発の充実 出前授業の実施 保健体育教諭対象講習会の実施 喫煙防止リーフレットを用いた授業 (教育委員会と共同作成) ③ 大学での喫煙防止啓発の充実 新入生への啓発リーフレットの配布 大学での自主的な取組の支援	○ 実施区数 実施区数 H19年5区 → H22以降:18区 ○ 実施区数 H20年3区 → H23年18区実施予定 ○ 実施区数 H21年3区 → H23年12区実施予定 ○ 区での禁煙相談件数 H19年269件、H20年692件、H21年189件 ○ 薬局での禁煙相談件数 727件(H22.10~H23.3まで) ○ HPアクセス数 H19.4:578件 → H22.10:4309件 ○ 登録医療機関数 H18.10:185件 → H23.3:257件 ○ 出前授業実施数 H19年39校、H20年41校、H21年28校 ○ 出前授業実施数 H21年2校、H22年1校 ○ 実施 講習会参加教諭数 H22:22名 ○ リーフレット配布校数 H23:9校(全市立高校) ○ 参加者数 リーフレット配布大学数 H22年23校、H23年19大学 ○ 自主的に取組んでいる大学数 H22年3大学、H23年5大学(予定)
【受動喫煙を受けない環境の整備】 (1) 受動喫煙防止啓発 (2) 受動喫煙防止対策の推進	(1) 受動喫煙防止啓発 ① 受動喫煙防止の機運づくり (ハッピー・ウェルネス・ウェブ事業 九都府市共同受動喫煙防止対策 キャンペーン) (2) 受動喫煙防止対策の推進 ① 飲食店事業主向け啓発 ② 「よこはま健康応援団」の店内終日 禁煙店の参加促進を通じた対策推進	○ 受動喫煙についての認知度 H19年71% → H21年81.5% (受動喫煙に関する県民意識調査) ○ 受動喫煙に関する広聴件数 H19年183件 → H22年98件 ○ 講習会実施区数 H19年2区、H20年5区、H21年5区 ○ 飲食店における対策状況調査結果 禁煙または分煙 の店舗割合18.6%(回答者の9割が小規模飲食店) ○ 参加店数 H21.2:186件 → H23.3:346件

神奈川区の 取組

～大学・地域と連携したタバコ対策 「広げよう、防煙・喫煙マナーの輪」～

平成22年度に、神奈川大学から喫煙マナーや学生への禁煙教育などの問題について相談を受けたことを契機に、大学・地域・行政の3者で、大学内及び大学周辺の地域での“タバコ対策”について多角的視点から議論・検討を進めました。

1 タバコ対策について議論

さまざまな価値観があることを共通理解した上で、タバコ対策について議論を重ねました。

大学では『学内における（喫煙などによる）環境悪化問題』、大学周辺の地域では『道路や公園でのタバコのポイ捨ての問題』、神奈川区では『未成年喫煙を防止するための防煙教育の介入や、防煙・禁煙啓発を推進するための環境整備の困難さ』など、3者それぞれにタバコに対する現状や課題がありました。そこで、お互いのことを知ることはじめ、それぞれが目指したい姿を共有することにしました。メンバーは、大学のtwitterでの呼びかけで集まった学生や教職員、大学周辺の保健活動推進員、行政保健師で構成されました。

話し合いは月1～2回程度行い、取組みの方向性について整理しました。「禁煙ばかりを打ち出すのではなく、喫煙者・非喫煙者双方が折り合いを

つけながら活動していくのがよいのでは」等、様々な意見が飛び交いました。テーマは、“広げよう、防煙・喫煙マナーの輪”に決定し、大学の文化祭で啓発キャンペーンを開催することとなりました。

2 出来ることを出し合い、協力し合いながら

それぞれが地域に出向き、ポイ捨ての現状や商店街での取組の取材を通して大学周辺の調査を実施したり、子育て中の母親へのインタビューを行いました。その情報をもとにパネルを作成し、文化祭で展



示することにしました。

タバコに関するパネル展示のほか、健康チェック（血流測定、呼気中一酸化炭素濃度測定）、大学・地域・行政の取組紹介、タバコの講演会などの準備をお互い協力しながら進めました。

3 取組の成果・効果

メンバーからは、「若い人たちに直接禁煙を勧めることができたことがよかった」「喫煙する人に対して啓発活動をする必要はないと思っていたが、未成年者に対しては啓発活動を行った方がよいと感じた」「官・民・学でイベントを開催することができ、とても楽しかった」などの感想が聞かれました。それぞれ課題は違っても、同じ“タバコ”に対する取組について意見交換し、協力し合いながら模索していくことの大切さを互いに実感することができました。また、この取組をきっかけとして、地域での顔の見える関係づくり・連携強化を図ることができました。



来年も一緒に取組んでいきましょう。

当日は165名の方がブースを訪れました！



1 受動喫煙防止の推進を目指して

事業を開始した平成19年当時は、まだまだ、人通りの多い所での歩行喫煙やタバコを吸わない人の前での喫煙などが数多く見受けられました。特に、タバコの副流煙による健康への悪影響は深刻で、地域全体で受動喫煙を防止する環境づくりが望まれていました。

そこで、児童・生徒を対象に受動喫煙防止ポスターコンクールを開催することで、子どもたちに受動喫煙の影響や喫煙の害について伝えていくとともに、子どもたちを通じて、保護者をはじめとする周囲の大人たちへの啓発の機会としていくことにしました。

2 わたしたちにタバコの煙を吸わせないで！

～ポスターコンクールのテーマ～

(1) 受動喫煙防止ポスターコンクールの開催

区内の小・中学校に働きかけ、「わたしたちにたばこの煙を吸わせないで！」をテーマとした受動喫煙防止ポスター作品の募集を行いました。

開催期間の平成19年度から21年度の間、区内公立全校から応募があり、毎回200点を超える作品が寄せられました。



(2) ポスター作品を活用した受動喫煙防止の啓発

応募作品については、区内公共施設（地域ケアプラザ、地区センター等）に一定期間展示し、区民への啓発に活用しました。

特に優秀作品としてコンクールで入賞した作品については、1枚のポスターにレイアウトして瀬谷区の受動喫煙防止ポスターとして作成し、年間を通じて、自治会町内会の掲示板、学校、医療機関、薬局、飲食店等に掲出していただきました。

このほか、表面にポスターと同じデザインを施し、裏面にタバコの煙の害について説明した啓発用のクリアファイルを作成し、区内小学校3年生全員に配布し、受動喫煙と子どもの喫煙防止の一助としました。

3 受動喫煙の防止と喫煙の低年齢化への歯止め

瀬谷区では、平成22年4月の神奈川県受動喫煙防止条例の施行をもって、受動喫煙防止の環境づくりのひとつとして開催してきたポスターコンクールを終了しました。

しかし、その後、保護者が容認する中での喫煙開始の低年齢化が社会問題となるなど、取り組むべき課題として、若年層の喫煙習慣の防止がクローズアップされてきています。子どもたち自らが、喫煙までのプロセスを断ち切ることができる力を身に付けることが必要であり、それに則した啓発方法や取組を展開していくことが重要課題となっています。また、保護者、学校、地域との連携も重要な要素であり、今後も、受動喫煙防止と同様に、地域ぐるみで取組を進めていくことを目指していきます。

平成22年度事業実績 健康横浜21 「禁煙・分煙の推進」

区名	事業名	主な内容
鶴見	子育て世代への受動喫煙防止啓発および禁煙啓発	イトーヨーカドー及びつるみ子育て支援拠点で啓発イベント ・呼気中一酸化炭素濃度測定 ・啓発パンフ配布とパネル展示 ・啓発グッズ配布 ・個別相談
	世界禁煙デー	歯の衛生週間行事に合わせて区役所で受動喫煙・禁煙のパネル展示
	禁煙記念日(禁煙相談)	・禁煙のメリットなどの講話 ・尿中ニコチン濃度測定 ・タバコ依存度チェック ・ニコチンパッチ、ニコチンガム、禁煙外来等の紹介 ・禁煙方法の個別相談 ・禁煙開始後の電話フォロー
神奈川	事業者へ向け受動喫煙防止啓発 両親学級での講座 区民祭りでの啓発	衛生管理者講習会や両親教室の参加者を対象に、タバコについて講話 区民まつりでパネル展示やチラシの配布、ヤニケンを活用しての啓発
	世界禁煙デーに合わせた取組	・区役所内の健康づくりキャンペーンで、骨密度測定と同時に呼気中一酸化炭素濃度測定による啓発及び相談を実施。 ・区役所内に禁煙啓発ポスターの展示
	禁煙相談	・ニコチェック、COモニター測定 ・医師の講話 ・個別相談
西	妊婦・子育て世代向け啓発講座	母子健康手帳交付時や両親等で啓発
	小学校高学年に喫煙防止教室	保健活動推進員と協働して、視覚教材やロールプレイングを用いた喫煙防止教育
	世界禁煙デーに合わせた取り組み	区役所ホールでポスター・パネル展示、リーフレット・チラシ配布などで禁煙についての啓発
	禁煙相談 禁煙サポート	・ニコチェック ・個別相談
中	母親向け禁煙啓発	母子健康手帳交付時に、全区共通「ママ向けリーフレット」を配布
	「中区おいしい空気宣言」	リーフレット「禁煙への手引き」を、区内イベントや、医療機関・薬局・企業等で5,000部配布
	世界禁煙デー	本牧サティ(現:イオン本牧店)で食育推進イベントとあわせて啓発イベント ・パネル展示 ・リーフレット「禁煙への手引き」の配付 ・呼気中一酸化炭素濃度測定
	禁煙相談	個別禁煙相談
南	未成年者の喫煙防止啓発	小・中学校にて喫煙防止教室と教材貸出 【小学校】:タバコについてのスライド、実験、DVDの教材を用いた授業 ・タバコに誘われたときの断り方(ロールプレイング) 【中学校】:タバコに誘われたときの断り方と身近にある危険の回避方法(ブレンストーミング、ロールプレイング)
	たばこ啓発事業/世界禁煙デー	①禁煙週間に区役所にて、タバコに関するパネル展示、リーフレットの配布、禁煙相談 ②保健活動推進員と協力して、南区福祉保健祭りでリーフレットの配布、呼気中一酸化炭素濃度測定、禁煙相談 ③イトーヨーカドー横浜別所店でのイベントで呼気中一酸化炭素濃度測定、禁煙相談
	禁煙相談	呼気一酸化炭素濃度測定、ニコチェック等を行いながら個別相談
港南	妊婦への禁煙・受動喫煙防止啓発事業	妊婦を対象として、①タバコの害についての講話 「タバコの害と受動喫煙防止について」 ②禁煙相談
	イベントでの禁煙啓発事業	イトーヨーカドー上大岡店及び区役所で啓発イベント ・呼気中一酸化炭素濃度測定 ・パネル展示、クイズ ・ミミズとカイワレの生育実験 ・パンフレットの配付 ・ヤニケンの配布 ・薬剤師会による個別相談
	世界禁煙デーに合わせた禁煙啓発	区役所において ・禁煙啓発のパネル展示・リーフレットの配付
	禁煙相談	呼気中一酸化炭素濃度測定、ニコチェック、ニコチンガム・パッチの配布、禁煙外来の紹介
保土ヶ谷	未成年者の喫煙防止啓発/ 受動喫煙防止キャンペーン	保健活動推進員と協働で、区内ケアプラザや小学校、保土谷看護専門学校のほか、区のイベントで啓発活動 ・クイズ、スタンプラリー ・ミミズの実験 ・タバコの断り方ロールプレイング ・ポスター、リーフレット等
	子育て世代への受動喫煙防止啓発及び禁煙啓発	乳幼児健診時に受動喫煙防止・禁煙の講話とちらし等配布
	世界禁煙デーキャンペーン	健活動推進員と協働で、区役所でパネル展示、チラシ・ヤニケンの配布、測定、相談
	禁煙相談	・ニコチン依存度チェック ・呼気中一酸化炭素濃度測定 ・尿中ニコチン濃度測定 ・講話:タバコの害・禁煙のメリットなど ・個別相談
旭	子育て世代への受動喫煙防止啓発及び禁煙啓発	母子健康手帳交付時に、喫煙が胎児に与える影響や禁煙相談をお知らせするチラシを配布 必要に応じて禁煙相談(呼気中一酸化炭素濃度測定を含む)
	世界禁煙デーの取組	①世界禁煙デー・禁煙週間に合わせて、旭区役所内の展示コーナーに、禁煙・受動喫煙防止に関するパネルを展示しパンフレット配布 ②保健活動推進員と連携して、相鉄線二俣川駅と鶴ヶ峰駅頭において、チラシ配布やのぼり旗などにより、禁煙・受動喫煙防止に関する啓発活動
	禁煙相談	・保健師が個別相談で、禁煙したい人へのアドバイス ・希望者には呼気中一酸化炭素濃度測定を実施 ・禁煙外来実施医療機関の情報提供や、リーフレットの配布

区名	事業名	主な内容
磯子	喫煙防止教室(未成年の喫煙防止啓発)	区内小学校15校で6年生を対象に喫煙防止教室 ・外部講師による実験 ・保健活動推進員とのロールプレイング
	世界禁煙デー	磯子区健康づくりフェスタでPR ・肺モデルを使って健常者の肺と病気の肺を比較 ・パネル展示、パンフレット配布
	禁煙相談	「禁煙セルフヘルプガイド」を用いて個別相談と禁煙外来の紹介
金沢	未成年者の喫煙防止啓発	小学校で喫煙防止教室 ・医師の講話 ・タバコの煙の実験 ・禁煙サポーターズの禁煙体験談とメッセージ ・タバコを誘われたときの断り方(ロールプレイング) ・保護者への啓発
	世界禁煙デーに合わせた取組	①公会堂で講演会「知ってる?タバコの害」 パネル展示、血流測定、クイズ ②区役所内の区民活動センターでのパネル展示
	禁煙相談	禁煙セルフヘルプガイドを活用し、ニコチン依存度チェック ・電話相談、支援 ・禁煙外来の紹介
港北	子育て世代への受動喫煙防止啓発及び禁煙啓発	①両親教室3回目(父親の参加を促している回)でタバコの害・受動喫煙について10分程度の講和と(資料配布)、呼気中一酸化炭素濃度測定 ②母子健康手帳交付時にチラシ(できればリーフレット)を配布
	小中学生、保護者向けの禁煙啓発	小学校の地域のイベントに出展、小中学生対象にクイズ、アンケートを実施し、禁煙イラスト入りクリアファイル、禁煙チラシ配布。パネル、タール見本を展示
	港北禁煙応援団	保健活動推進員の地区代表に禁煙応援団になってもらい啓発活動 ・区内の新規開設飲食店に禁煙調査、健康応援団登録を推奨 ・区民まつりで啓発 ・区内の学校で啓発活動
	世界禁煙デー	区役所内の健診スペースにてタバコに関する情報提供 ・パンフレット・チラシの配布 ・ポスターの掲示 ・呼気中一酸化炭素濃度測定
	禁煙相談	・個別相談(面接、ニコチン依存度チェック、呼気中一酸化炭素濃度測定)、資料配布
緑	未成年者の喫煙防止教育(小学生)	6年生対象に小学校で喫煙防止教室 ・視聴覚教材やロールプレイングを用いた喫煙防止教育 ・アンケート
	受動喫煙を受けない環境の整備	食品衛生講習会において健診案内、禁煙店への登録呼びかけ
	世界禁煙デー	区役所ロビーでタバコに関する情報提供 ・ポスター、チラシ配布
	リセット禁煙事業(ニコニコ卒煙クリニック)	・呼気中一酸化炭素濃度測定 ・尿中ニコチン濃度測定 ・タバコの害について医師の講話 ・グループカウンセリング ・個別相談
青葉	未成年者の喫煙防止啓発	①小学校3校で喫煙予防教室 ②大学の新生オリエンテーション喫煙予防・禁煙啓発
	子育て世代への受動喫煙防止啓発及び禁煙啓発	①両親教室:受動喫煙や喫煙の害の講話と個別相談 ②母子健康手帳交付時:受動喫煙防止チラシ配布、区禁煙相談の案内チラシ配布 ③乳幼児健診:喫煙中の親に受動喫煙や喫煙の害の説明と区禁煙相談の案内チラシの配布
	世界禁煙デー	・区民ホールでのタバコの害と禁煙に関する展示とリーフレット配布 ・保健師や禁煙ボランティア(禁煙教室OB)による禁煙相談
	禁煙相談	禁煙方法や禁煙外来の紹介、呼気中一酸化炭素濃度測定・ニコチン濃度測定
都筑	タバコ対策	・母子健康手帳交付時に「つづきのタバコのはなし」パンフレットの配布 ・小学校へ防煙教育の教材貸出 ・区民祭りでタバコの害に関するパンフレットの配布(保健活動推進員) ・商業施設のイベントでチラシ配布 ・ホームページでの情報提供
	都筑ヘルスアップフェア	イトーヨーカドーららぽーと横浜店と連携した健康づくりの啓発イベント ・野菜350g計量体験 ・パネル展示 ・リーフレットの配布 ・体組成計による健康チェック、ウォーキングマップ配布 ・タバコの害啓発(パネル展示、リーフレットの配布) ・咀嚼力チェックや歯周病セルフチェック ・乳がん触診体験 ・子どもの事故防止 ・アンケート調査
	世界禁煙デーパネル展	・世界禁煙デーにちなんだパネル展を区民ホールで開催 ・パンフレットの配布
	禁煙相談	月1回の予約制個別相談、電話相談は随時

区名	事業名	主な内容
戸塚	地域での受動喫煙防止啓発及び禁煙啓発	区内の施設やイベントで啓発キャンペーン (平戸中学校、しらば幼稚園、地域ケアプラザ、大正地区連合フェスタ、ラムーナ横浜戸塚集会所、資源循環局3Rまつり) ・ブース出展(パネル展示、クイズ、肺活量測定、呼気中一酸化炭素濃度測定、血流測定など)
	子育て世代への受動喫煙防止啓発及び禁煙啓発	母親教室及び両親教室での啓発 ・タバコの害についての講話 ・リーフレットの配布 ・福祉保健センターにおける禁煙支援実施の紹介
	未成年の喫煙防止啓発／食品関連事業者等と連携した普及啓発	①明治学院大、横浜薬科大の大学祭で啓発 ・食事バランスガイドや野菜摂取の啓発 ・タバコの害を学ぶブース ②禁煙講演会 明治学院大で講演会とパネルディスカッション
	世界禁煙デーに合わせた取組	区役所及び明治学院大において、喫煙防止、受動喫煙キャンペーン ・呼気中一酸化炭素濃度測定や血流測定等 ・パネル展示やたばこに関するクイズなどのブース出展 ・ヤニケン配布
	禁煙相談・禁煙教室	個別相談 呼気中一酸化炭素濃度測定、尿中ニコチンチェック等 禁煙教室 呼気中一酸化炭素濃度測定、尿中ニコチンチェック等 医師の話 グループワーク 禁煙教室卒業者による禁煙体験の講話 個別相談 賞状授与 ・つつか区民活動センターで一般区民も参加して医師の講話と測定
栄	健康づくり出張隊	フジスーパー本郷台店、イトーヨーカドー桂台店、本郷台駅前、大船駅笠間口で啓発イベント ・「メタボリックシンドローム予防」をテーマに、正しい食生活(食事バランスガイドの活用、朝食の摂取、野菜摂取の増加等)、身体活動・運動習慣、禁煙・分煙の普及啓発を実施 血圧測定 ・体脂肪測定 スタンプラリー 食生活相談、足指力測定 呼気中一酸化炭素濃度測定
	子育て世代への受動喫煙防止啓発及び禁煙啓発	両親教室の参加者を対象にした教室 ・受動喫煙の害について講話、チラシ配布 ・希望者に呼気中一酸化炭素濃度測定と個別相談
	禁煙・分煙の推進	両親教室、区民祭り、スーパーマーケットで啓発イベント 講話 ･クイズ ･チラシ配布 ･個別相談
	卒煙相談	・肺の機能検査(スパイロメーター) ・呼気中一酸化炭素濃度測定 ･個別相談
泉	健康横浜21 タバコ研修会	民生委員や保健活動推進員など、子どもに接する地域の委員を対象に、タバコを吸わせない環境づくりに関する研修会
	健康づくり活動フェアで啓発	呼気中一酸化炭素濃度測定 ･個別相談 ･パネル展示と資料配布
	妊婦・子育て世代向け禁煙啓発	母子健康手帳交付時:全数に受動喫煙防止チラシ配布、区禁煙相談の案内チラシ配布 乳幼児健診:喫煙中の親に受動喫煙や喫煙の害の説明と区禁煙相談の案内チラシの配布
	世界禁煙デーイベント おいしい空気でいきいきと	区民ホールで啓発イベント ・肺年齢測定 ･呼気中一酸化炭素濃度測定 ･個別相談 ･パネル展示と資料配布
	保健活動推進員向け学習会	外部講師による講演会『「なぜ、タバコを吸ってはいけないの?」にしっかり答えるために』
	禁煙支援	小学校の教員・養護教諭を対象に研修会 ・授業で行う禁煙指導のポイント説明
	キッパリ卒煙教室	呼気中一酸化炭素濃度測定、尿中ニコチン代謝物の測定 ･医師の講話 禁煙プログラムの作成 ･個別相談
瀬谷	未成年者の喫煙防止・防煙啓発	区内小学校全11校で3年生を対象に受動喫煙防止クリアフォルダの配布 中学生の喫煙防止教室(1回) 教育用資料・教材の貸出(1施設)
	妊婦・子育て世代向け禁煙啓発	母親教室及び両親教室での啓発 ・タバコの害についての講話 ・リーフレットの配布 ・福祉保健センターにおける禁煙支援実施の紹介
	受動喫煙防止対策	区役所の各種事業でチラシ配布 ・歯の衛生週間 ･区民まつり ･母親教室 ･育児教室 ･保健活動推進員研修等
	世界禁煙デー	・区庁舎でパネル展示 ・タバコのポスターコンクール優秀作品のポスター化し、小学校及び公共機関で掲示
	個別禁煙相談	・個別面接 ･呼気中一酸化炭素濃度測定、ニコチンチェック 禁煙方法や医療機関の紹介等

横浜市全体の 取組

喫煙防止啓発

「今吸っていない子どもがこれからも吸わないために」

喫煙率を低下させるためには、禁煙の推進と合わせて、今吸っていない人をこれからも吸わせないという喫煙防止対策が重要です。「健康に関する市民意識調査」によると、横浜市の喫煙者のうち、習慣的にタバコを吸い始めた年齢が20歳未満の市民は48.0%と、未成年が半数を占めていることが分かりました。そこで、未成年者への喫煙防止を目的に、小学校、中学校、高校、大学とそれぞれの節目に合わせた喫煙防止啓発を強化しました。

未成年者への喫煙防止啓発

実施	22年度実施数	実施人数
小学校	36学校	3,300人
中学校	1学校	150人
市立高校	11学校※	8,000人
大学	23大学	26,000人

※高校は H23 年度に新規事業として実施したため、H23 年度実施数



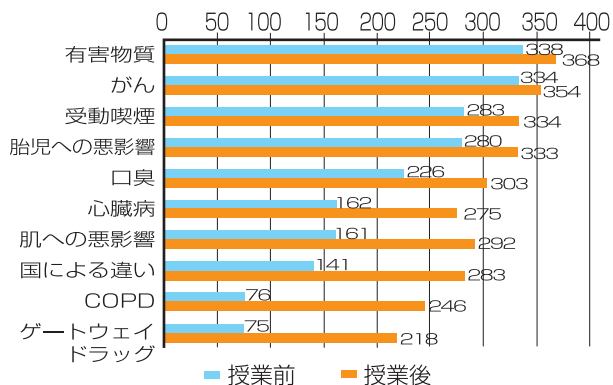
小学校や中学校では、区役所の保健師等が出前授業などを行い、児童・生徒に対して喫煙防止啓発を行いました。授業の中では、保健師が喫煙の害について説明した後、実際にミミズを使った実験でタバコの煙の害を学んだり、保健活動推進員が大人役を演じ、タバコの断り方のロールプレイングを行ったりして学びを深めました。

市立高校については、既存の保健体育の授業の中で、タバコの害についての学習の充実を図りました。23年度に教育委員会と連携して「タバコを吸わないを選ぶ」というリーフレットを作成し、実際に保健体育教諭が授業を行いました。リーフレットを作成する際は、単に知識の提供にとどまらないよう、高校生の興味のある恋愛や肌への影響等の項目を盛り込み、海外のタバコのパッケージや啓発等最新の情報を掲載し、高校生の興味に沿った内容となるよう工夫しました。

授業の前後で行った高校生に対するアンケートでは、タバコの知識について、「ゲートウェイドラッグ」「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」「国による対策の違い」「肌への影響」等の項目で、顕著に知識の増加が見られました。また、タバコに対する印象については、「体に悪い」以外にも「やめるのが難しい」「美容に悪い」「異性に嫌われる」等の項目で増加が見られました。単に

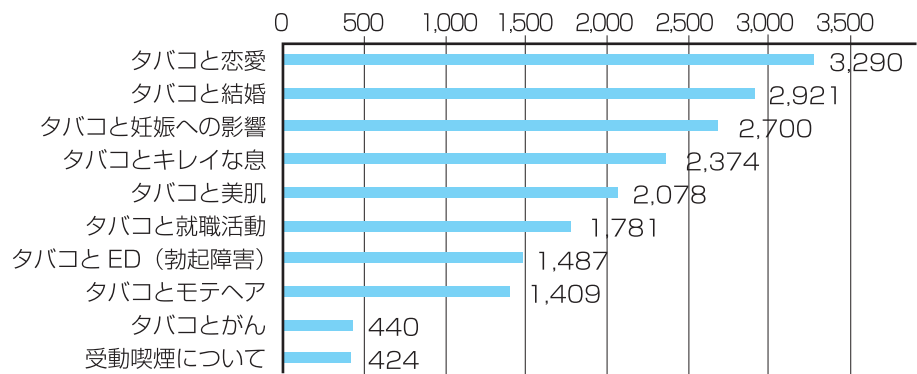
市立高校生喫煙防止授業前後アンケート結果 (9校・384名)

タバコの知識





興味のあった内容



知識だけではなく感情に働きかける方法を取ったことで、高校生の知識や意識が変化したと考えられます。

大学生に向けた喫煙防止啓発では、市内 23 大学の新入生に向けて喫煙防止啓発を行いました。大学生と一緒にチラシ内容を考え、大学生の興味がある就職のことや恋愛・美容の面からもタバコの影響について掲載したチラシ 26,000 枚を配布し、新入生に対し非喫煙の重要性を啓発しました。いくつかの大学では、大学独自の喫煙防止啓発に取組んだり、区役所や地域の人と連携して、学生だけでなく、地域への啓発に取組んだり、大学内にとどまらず、広がりを見せています。

学内での取組としては、新入生オリエンテーションでの啓発の他、講演会の実施や喫煙防止授業の実施、就職セミナーやトイレ内での啓発等を行いました。大学が主体的に啓発を行えるようにサポートする形で、最新情報の提供や先行事例の情報提供、啓発方法の工

夫について話し合いながら進めていきました。

配布した喫煙防止啓発チラシについては、『興味を持たた』または『少し興味を持たた』という回答が 63% を占め、興味のあった内容については、チラシのテーマである『タバコと恋愛』が最も多く、次いで『タバコと結婚』『タバコと妊娠への影響』が続きました。



トイレでの一言メモ啓発

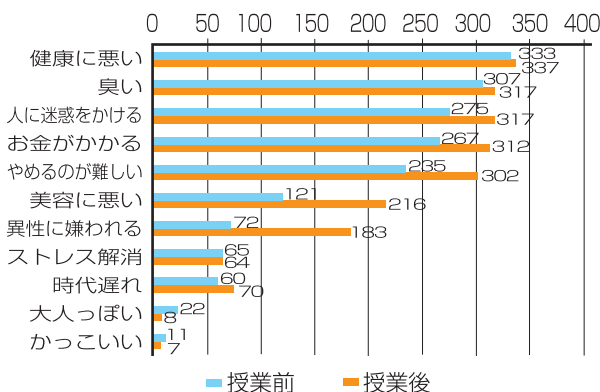


お知らせ掲示板での啓発



懸垂幕での呼びかけ

タバコに対する印象



(4) 関係団体の主な取組

▶ 保健活動推進員

横浜市保健活動推進員は地域の健康づくりのリーダーです。自治会町内会の推薦により市長から委嘱された約5,000人が、横浜市民の健康づくり計画「健康横浜21」の推進役として、自らが楽しく健康づくりに取組むとともに、周囲の人に広め、地域住民が健康づくりを実践できるようなきっかけづくりや、健康づくりを継続するために活動しています。

福祉保健センターをはじめ、地域の関係機関と連携・協力しながら、「健康横浜21」の重点取組テーマである「生活習慣病予防の推進」を中心に、様々な健康づくり活動を実施してきました。

活動内容としては、ウォーキングや体操教室の開催、禁煙や健診受診の啓発活動、区民まつりや健康づくり月間事業などの区内各種イベント会場での健康チェック・体力測定の実施など、様々な活動を行っています。

さらに、広報誌や機関紙の発行により、活動の紹介・広報も実施しました。

その他、自らの健康づくりの実践や活動方法について学ぶために、区役所が実施する生活習慣病予防などの講義や、健康チェックの実施方法の実習を受け、区役所等に地域の意見や情報を伝えたり、地域の健康づくりのため、介護予防、高齢者支援や子育て支援など、地域の実状にあわせた活動を展開しました。



■保健活動推進員の活動(22年度)

区分	主な実施内容	実施回数	参加者数
事業	ウォーキング、体操教室、生活習慣改善プログラム、料理教室、喫煙防止教室、禁煙啓発 他	9,396回	138,612人
研修	ウォーキング研修、体力測定講習、歯や口腔ケアの講習、がん予防や健康レシピ・受動喫煙防止講習 他	556回	6,675人
会議	地区総会、地区定例会、町代表会議 等	3,612回	24,865人

▶ 食生活等改善推進員（ヘルスマイト）

市民の健康増進を進めるために、市民自身も役割を担っています。区役所で養成講座を受講し、食生活等改善推進員（通称ヘルスマイト）として健康づくりを実践しているボランティア約2,000人が地域で活躍しています。

「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に自ら健康づくりを実践し、仲間や地域の人たちとのふれあいを深めながら、栄養・運動・休養の調和のとれた健康づくり活動を行ってきました。市民を対象にした調理体験や簡単レシピ集の作成、食のイベント実施や食育啓発等を行いました。

■食生活等改善推進員の活動(22年度)

主な実施内容	実施回数	参加者数
生活習慣病予防	6,350回	76,278人
母子の健康・貧血予防	2,405回	19,879人
高齢者の健康・食生活	14,612回	98,335人



▶ 健康保険組合連合会神奈川連合会

■健保連かながわ 100 キロウォーク

生活習慣病の予防に、だれでも・いつでも・どこでも実行できるウォーキングは、体力と運動機能の維持を兼ね、最良な方法と言われていることから、年間を通じて参加できるよう定期的に開催しました。1 回あたり平均で 250 人以上が参加しました。

〈対象〉

会員組合の被保険者及び家族、並びに一般者

〈実施場所〉

県内の名所・旧跡を中心に約 8～9km のコース

〈内容〉

- ①毎月第 4 土曜日、9 時 30 分集合。コース説明、準備体操をしてスタート。
- ②団体歩行ではなく自由歩行。但し 12 時 30 分頃までにゴールすること。
- ③コースのポイントで県歩け歩け協会の係員が進行方向を指示。

■かながわ特定保健指導フェア

平成 20 年度からはじまった特定保健指導について、特定保健指導の PR と生活習慣病予防に重点を置いた 3 区分の講話を行ない、特定保健指導の必要性・生活習慣見直しの啓発を行いました。

〈対象〉

健保組合の被保険者・家族、並びに一般者

〈実施場所〉

横浜市中区『かながわ労働プラザ』

〈内容〉

『もっと健康に、もっとスマートに、生活習慣を見直そう!!』

- ①保健師による健康講話
- ②管理栄養士による食生活改善講話
- ③運動指導士による実践と講和
- ④健康体力測定
- ⑤受動喫煙測定・禁煙相談
- ⑥血管年齢・血液サラサラ・足型足圧測定



▶ 神奈川県栄養士会

■シニア健康料理教室

主に栄養士会会員が講師を務め、60 歳以上のシニ

ア世代に向けた健康講話とヘルシーメニューの調理実習を行う料理教室を年 2 回継続して開催しました。

〈対象〉

60 歳以上のシニア

〈実施場所〉

ウイリング横浜調理室

〈内容〉

季節やテーマに合わせた講話と調理実習、試食
生活習慣病予防の減塩メニュー、野菜たっぷりメニュー、薬膳料理など

■応援します！げんき家族 2 1

「健康神奈川 2 1」を推進するための事業として、県栄養士会の職域協議会の一つである地域活動栄養士協議会が平成 13 年度より毎年県内 2 地区で地域住民対象に健康講座を行っており、横浜市内でも 3 回実施しました。

〈対象〉

あらゆる世代の地域住民（幼児、小、中学生、成人、高齢者）

〈実施場所〉

主に公民館や地区センターなど

〈内容〉

健康講話、調理実習、体験学習、試食、展示など

〈横浜地区で開催した内容〉

- ・幼児をもつ親向けに幼児期の食事とおやつの紹介、試食（青葉区）
- ・中学生への食生活チェックとアドバイス（中区）
- ・小学生の親へ食育講座（港南区）



▶ 横浜市歯科医師会

■歯の衛生週間中央行事（横浜市歯の衛生週間実行委員会）

歯の衛生に関する正しい知識の普及・啓発を目的に、6 月 4 日～ 10 日の歯の衛生週間にあわせ、イベントを実施しました。

〈対象〉

市民

〈実施場所〉

みなとみらい クイーンズスクエア クイーンズサークル

〈内容〉

歯科相談 矯正相談 口臭測定相談 ブラッシング指

導 健康コーナー（タバコ・食） 技工士会体験コーナー 介護口腔ケアコーナー 震災コーナー 歯科保健センター紹介コーナー サイコロゲーム

■高齢者よい歯のコンクール(戸塚区歯科医師会)

高齢者の歯の健康を推進するため、80歳以上の区民を対象に「よい歯のコンクール」で表彰を行い、あわせてブラッシング指導や講話、相談などを実施しました。

〈対象〉

戸塚区民

〈実施場所〉

戸塚区役所

〈内容〉

- ①事前に会員にむけて80歳以上で20本以上の歯が残っている人の推薦を募集し、再度健診後表彰。
- ②歯科相談



▶ 神奈川新聞社

■メディカルセミナー

タバコによる健康被害などをテーマにしたメディカルセミナー

■かながわ中高生とその保護者・指導者のための健康セミナー

無理なダイエットが引き起こす健康被害などについての講演会



▶ 横浜市体育協会

■ヨコハマさわやかスポーツ普及事業

ソフトバレーボール、グラウンドゴルフ、ペタンク、インディアカ、シャフルボードなど、いつでもどこでも気軽にできるニュースポーツ「ヨコハマさわやかスポーツ」の推進を行いました。イベント開催や指導者の派遣、用具の貸出しなどを行い22年度は19万人以上が参加しました。

■横浜市スポーツ人材活用システム

スポーツリーダーや健康・体力づくりインストラクター養成講座などを実施して、地域スポーツ指導者を育成し、健康づくり教室などへの派遣を行いました。22年度は活用した事業が2,289回開催され、5万

人以上が参加しました。

■スポーツセンターでのスポーツ教室

市内各区のスポーツセンターにおいて様々なスポーツ教室を開催しました。

教室数は9,311でそれぞれ平均40回開催しました。

■子どもの体力向上支援事業

子どもの外遊びへの関心を高め、体力向上をめざす「いきいきキッズモデル事業」として、市内の小学校31校でドッジビー、ダブルダッチなどの種目を提供する事業を実施し、22年度で35,000人の小学生が参加しました。

■その他

○スポーツ医科学センターによるスポーツ教室、健康教室、講演事業を実施しました。

○市役所・区役所、地域ケアプラザ、様々な地域の団体等が実施する講座や教室、講演会などに専門講師の派遣を行いました。

「健康横浜21推進会議」委員名簿

(24年3月現在 敬称略)

役職	氏名	職名
会長	白井 尚	横浜市医師会 常任理事
副会長	古田 正一	横浜商工会議所 常勤参与
副会長	齋藤 正二	横浜市食品衛生協会 副会長
	荒木田 美香子	国際医療福祉大学 教授
	石渡 弘一	神奈川産業保健推進センター 所長
	岩田 祐次	神奈川県国民健康保険団体連合会 企画調査課長
	片岡 孝之	(株)神奈川新聞社 総務部長
	河内 麻里	横浜市立汐見台中学校 校長
	川口 宏	横浜市体育協会 地域スポーツ振興部長
	河野 弘	チェーンストア協会(相鉄ローゼン総務人事部マネージャー)
	小山 明美	J A横浜 生活文化部長
	嶋田 充郎	(株)テレビ神奈川 事業部長
	高堂 正	横浜市薬剤師会 副会長
	塚本 光俊	港南区福祉保健センター長
	中村 賢治	健康保険組合連合会神奈川連合会 事務局長
	中山 脩郎	禁煙・分煙活動を推進する神奈川会議 会長
	根本 幸雄	横浜市保健活動推進委員会 会長
	長谷川 利希子	神奈川県栄養士会 地域活動栄養士協議会会長
	濱見 米子	横浜市食生活等改善推進員協議会 会長
	平野 茂樹	横浜南労働基準監督署 署長
	堀元 隆司	横浜市歯科医師会 常務理事
	吉原 昇	全国健康保険協会神奈川支部 企画総務部長

「健康横浜21」最終評価・次期計画検討ワーキング名簿

(24年3月現在 敬称略)

氏名	所属
荒木田 美香子	国際医療福祉大学 教授
白井 尚	横浜市医師会 常任理事
長谷川 利希子	神奈川県栄養士会 地域活動栄養士協議会会長
持田 尚	横浜市体育協会 健康づくり事業課 医科学員
岡本 直幸	神奈川県立がんセンター臨床研究所 がん予防・情報学部 部長
平野 茂樹	横浜南労働基準監督署 署長
堀元 隆司	横浜市歯科医師会 常務理事
松原 実千代	横浜市健康福祉局企画課 担当係長
宮坂 洋子	横浜市健康福祉局保険年金課 特定健診等担当係長
岡 利香	横浜市神奈川区福祉保健課 健康づくり係長
木村 博和	横浜市健康福祉局担当部長
事務局	仲嶋 正幸 土井 やすみ 成田 晶子 石内 小百合 横浜市健康福祉局保健事業課

■評価指標一覧(重点項目指標は★マーク)

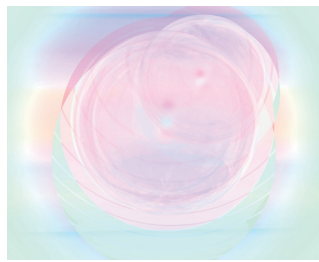
目標	指標	出典	目標値	策定時値		最終時値		統計学的検定		評価	
				年度	%	年度	%	p	有意差		
食習慣の改善	1日3食多種多様な食品を食べる市民を増やす	★朝食を食べる市民の割合	85%↑	17	72.7%	23	75.8%	0.072		変化なし	
		昼食を食べる市民の割合		17	80.7%	23	81.0%	0.839		変化なし	
		夕食を食べる市民の割合		17	87.5%	23	90.1%	0.030	※	改善	
		健康に関して「食事や栄養の工夫や知識について知りたい」と思う市民の割合		17	34.9%	23	46.0%	0.0001	※※※	改善	
		健康のために「食事・栄養に気をつける」市民の割合		17	67.8%	23	81.4%	0.0001	※※※	改善	
	野菜を多く食べる市民を増やす	★1日あたりの野菜摂取量	国民(県民)健康・栄養調査	350g↑	15	275.6g	22	242.2g	0.068		変化なし
適正な体重を維持する市民を増やす	★適正な体重を維持する市民の割合(20~60歳代で肥満でない男性)	国民(県民)健康・栄養調査	85%↑	15	75.9%	22	71.8%	0.471		変化なし	
	★適正な体重を維持する市民の割合(40~60歳代で肥満でない女性)	国民(県民)健康・栄養調査	85%↑	15	83.8%	22	80.5%	0.514		変化なし	
身体活動・運動の定着	運動習慣を持つ市民を増やす	健康のために「なるべく体を動かしたり運動したりする」市民の割合		17	57.8%	23	60.0%	0.272		変化なし	
		健康に関して「運動の種類や方法について知りたい」市民の割合		17	46.9%	23	55.3%	0.0001	※※※	改善	
		スポーツ会館利用者数(延べ数)	横浜市統計ポータルサイト		13	165,788人	21	208,742人	-		増加
		スポーツセンター利用者数(延べ数)	横浜市統計ポータルサイト		13	2,664,991人	21	4,858,267人	-		増加
		★運動習慣を持つ成人男性の割合(1日30分以上・週2日以上運動する習慣が1年以上)	健康に関する市民意識調査	40%↑	17	40.0%	23	37.1%	0.323		変化なし
		★運動習慣を持つ成人女性の割合(1日30分以上・週2日以上運動する習慣が1年以上)	健康に関する市民意識調査	35%↑	17	31.5%	23	33.2%	0.493		変化なし
	日常的に歩く習慣を持つ市民を増やす	65歳以上で健康のために、普段から運動をしている市民の割合	高齢者実態調査		13	39.4%	22	53.1%	0.0001	※※※	改善
		★日常生活における男性の歩数	国民(県民)健康・栄養調査	9,500歩↑	15	9,407歩	22	8,469歩	0.120		変化なし
		★日常生活における女性の歩数	国民(県民)健康・栄養調査	8,500歩↑	15	8,448歩	22	7,565歩	0.026	※	悪化
		65歳以上で週3回以上外出する市民の割合	高齢者実態調査		13	67.7%	22	87.7%	0.0001	※※※	改善
	65歳以上で外出の理由が散歩の市民の割合	高齢者実態調査		13	41.8%	22	46.3%	0.0001	※※※	改善	
禁煙・分煙の推進	喫煙習慣を見直す市民を増やす	★タバコを吸わない市民の割合	85%↑	17	79.2%	23	82.8%	0.019	※	改善	
		健康のために「タバコを吸わない、やめた、本数を減らしている」市民の割合		17	12.6%	23	39.6%	0.0001	※※※	改善	
		「タバコをやめたい、減らしたい、やめたいがやめられない」喫煙者の割合		17	65.7%	23	73.5%	0.075		変化なし	
		禁煙教室や医療機関の禁煙外来等の認知率	健康に関する市民意識調査		17	38.1%	23	76.8%	0.0001	※※※	改善
	受動喫煙を受けない環境の整備	★多くの市民が利用する施設の完全分煙・禁煙の実施率	受動喫煙防止対策実態調査	70%↑	15	43.5%	23	64.0%	0.0001	※※※	改善
		顧客利用スペースの完全禁煙実施率	受動喫煙防止対策実態調査		15	33.8%	23	47.4%	0.0001	※※※	改善
メタボリックシンドローム対策の推進	特定健診を受ける市民を増やす	★特定健診受診率	-	-	-	-	-	-	-	-	
		健診を受ける男性の割合		15	72.8%	22	81.9%	0.038	※	改善	
		健診を受ける女性の割合		15	59.9%	22	55.2%	0.322		変化なし	
		健診を毎年受けている市民の割合	健康に関する市民意識調査		17	46.4%	23	60.9%	0.0001	※※※	改善
		健診を3年に1度以上は受けている市民の割合	健康に関する市民意識調査		17	57.1%	23	74.8%	0.0001	※※※	改善
		健康のために「定期的に健康診断を受ける」市民の割合	健康に関する市民意識調査		17	42.7%	23	45.7%	0.151		変化なし
	特定保健指導を利用する市民を増やす	★特定保健指導利用率	-	-	-	-	-	-	-	-	
メタボリックシンドロームになる市民を減らす	★メタボリックシンドロームの該当者・予備軍の減少率	-	-	-	-	-	-	-	-		
多様な健康づくりの推進	健康意識の増加	自分の健康状態を「健康」「どちらかというと健康」と回答する市民の割合		17	83.3%	23	83.9%	0.701		変化なし	
		健康のために「日頃から体重や血圧などのチェックをする」市民の割合		17	34.9%	23	47.9%	0.0001	※※※	改善	
		健康のために「健康や病気に関する知識を身につける」市民の割合		17	34.7%	23	41.3%	0.001	※※	改善	
		知りたい情報に「健康づくり」と回答する65歳以上の割合	高齢者実態調査		13	34.4%	23	50.2%	0.0001	※※※	改善
	アルコール	一日平均3合以上飲む男性の割合	国民(県民)健康・栄養調査		15	12.0%	22	14.8%	0.507		変化なし
		一日平均3合以上飲む女性の割合	国民(県民)健康・栄養調査		15	7.3%	22	6.0%	0.744		変化なし
	休養・こころの健康づくり	目覚めたときに疲労感が残る男性の割合	国民(県民)健康・栄養調査		15	30.0%	22	30.2%	0.959		変化なし
		目覚めたときに疲労感が残る女性の割合	国民(県民)健康・栄養調査		15	25.0%	22	19.1%	0.141		変化なし
		ストレスをためないようにしている男性の割合	国民(県民)健康・栄養調査		15	74.7%	22	75.2%	0.918		変化なし
		ストレスをためないようにしている女性の割合	国民(県民)健康・栄養調査		15	73.3%	22	81.5%	0.044	※	改善
	歯の健康	不自由なく何でも食べられる60歳以上の男性の割合	国民(県民)健康・栄養調査		15	61.0%	22	70.0%	0.330		変化なし
		不自由なく何でも食べられる60歳以上の女性の割合	国民(県民)健康・栄養調査		15	67.0%	22	77.8%	0.196		変化なし
		自分の歯を20本以上もつ40歳以上の男性の割合	国民(県民)健康・栄養調査		15	65.7%	22	77.9%	0.045	※	改善
		自分の歯を20本以上もつ40歳以上の女性の割合	国民(県民)健康・栄養調査		15	61.9%	22	75.9%	0.013	※	改善
		進行した歯周病に罹患した40歳代の割合	歯周疾患検診		15	27.7%	22	36.4%	0.189		変化なし
		進行した歯周病に罹患した50歳代の割合	歯周疾患検診		15	37.3%	22	30.2%	0.305		変化なし
	歯を守るために何かしている市民の割合	健康に関する市民意識調査		17	72.6%	23	85.0%	0.0001	※※※	改善	

※有意差の大きさを表す

市民の健康づくり計画

健康横浜21

— 最終評価報告書 —



平成24年(2012年)3月
横浜市健康福祉局保健事業課
〒231-0017
横浜市中区港町1-1
TEL:(045)671-2454
FAX:(045)663-4469
